

6-3 中部・北陸地方の地殻変動

Crustal Deformations in the Chubu and Hokuriku Districts

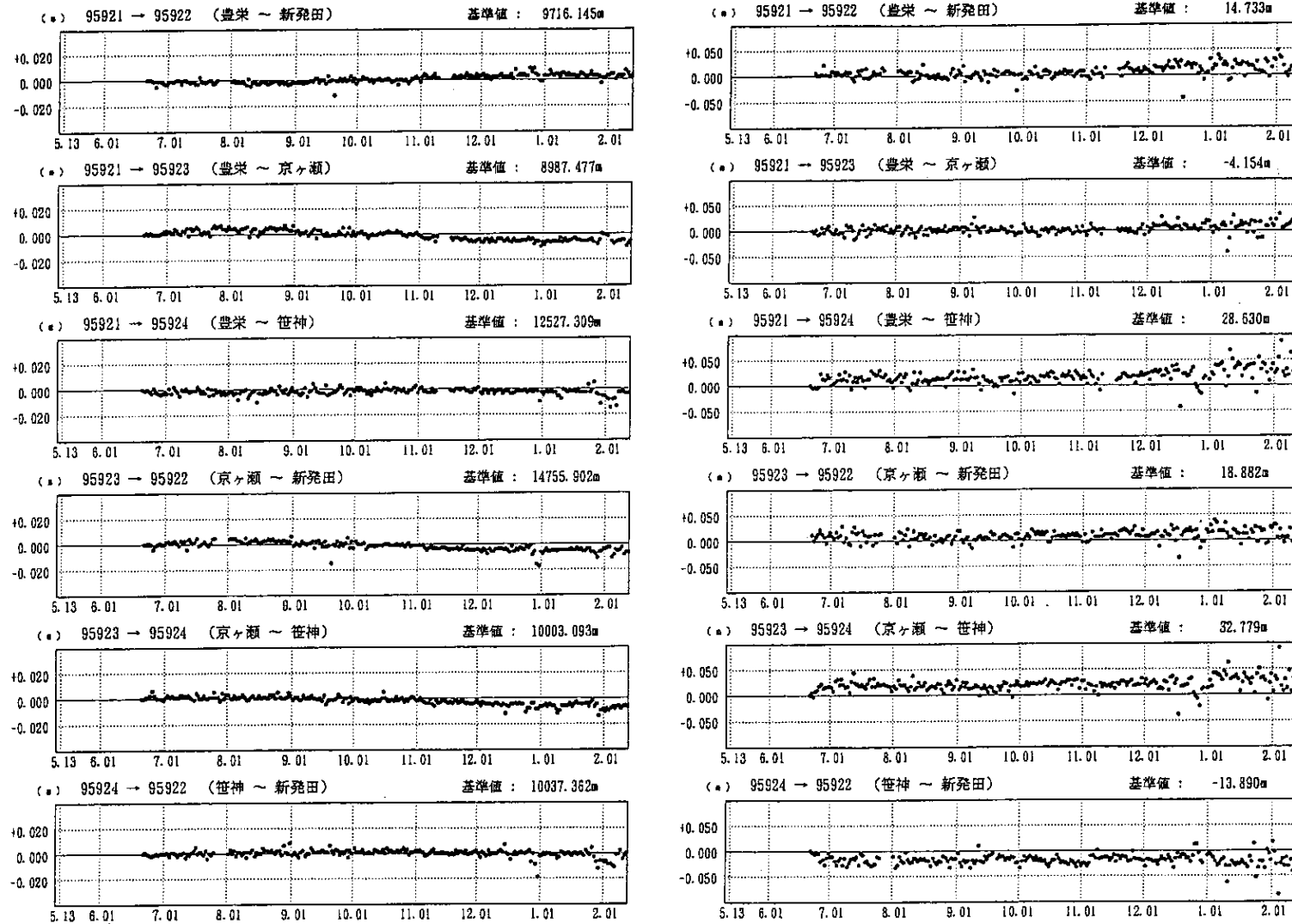
国土地理院
Geographical Survey Institute

第1図は、1995年4月の新潟県北部地震の震源域周辺で実施しているGPS連続観測の結果である。1995年夏から秋にかけて、豊栄-新発田基線が伸び、豊栄-京ヶ瀬、京ヶ瀬-新発田及び京ヶ瀬-笹神基線が縮む変化が見られる。同時に、比高にも変化が現れている。このような変化は、阪神地方のGPS連続観測にも見られており、気象条件等の影響も考えられる。

第2図は、大垣~岐阜~名古屋間の上下変動である。1994年からの1年間では、大垣に対し名古屋が2cm程度沈降しているが、その前の1年間は逆に同程度隆起しており、系統的な誤差の混入も疑われる。第3図は、鬼崎駿潮場~豊明間の上下変動である。1994年からの1年間、鬼崎に対し豊明側が1cm弱沈降している。第4図は、四日市~名古屋間の上下変動である。1994年からの1年間では、四日市~朝日間に四日市側に増加する隆起傾向が見られる。しかし、その前の1年間では、同区間は四日市側が沈降しており、これも系統誤差の混入が疑われる。

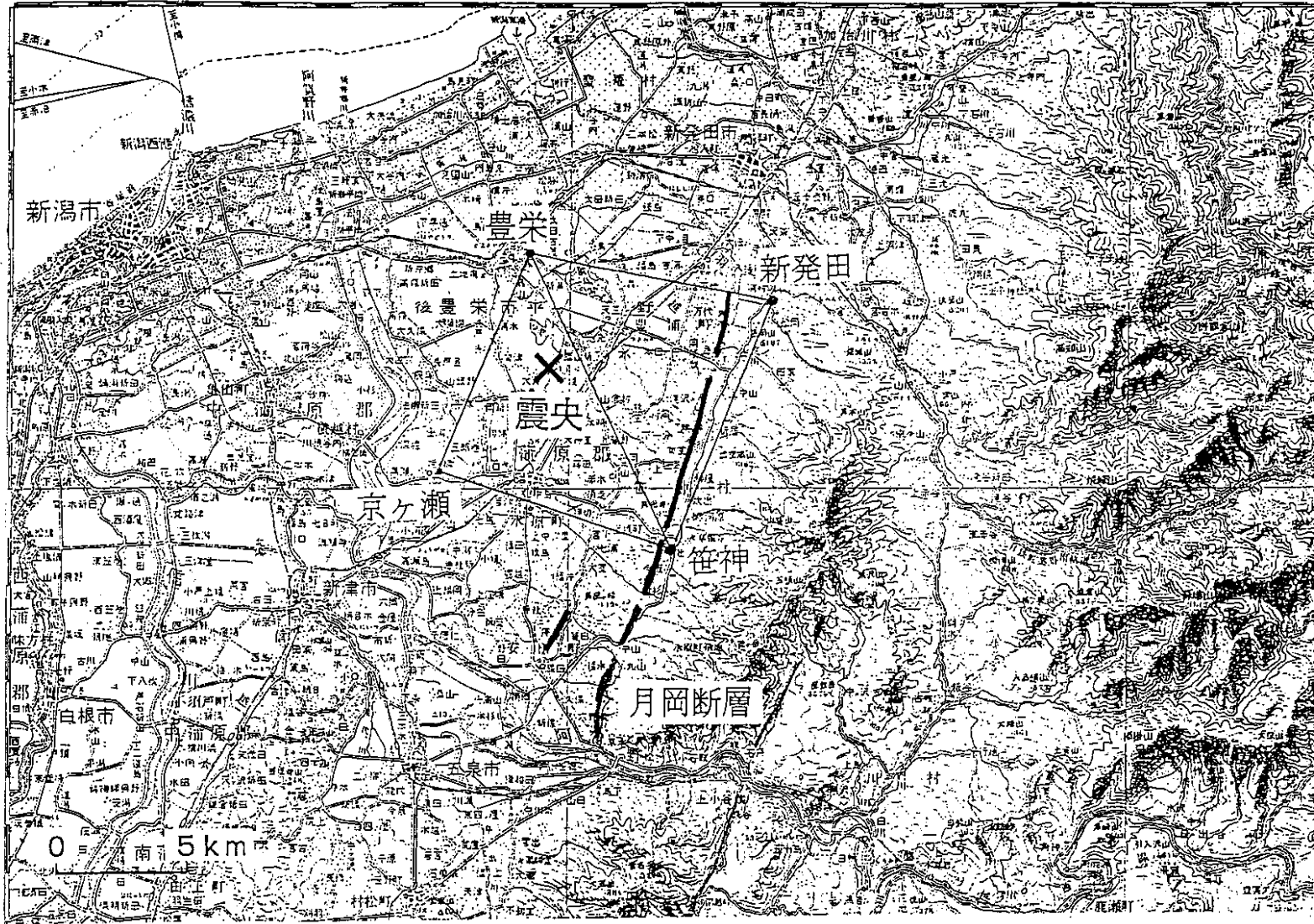
参 考 文 献

- 1) 国土地理院：中部地方の地殻変動，連絡会報，**51**（1994），631-639.
- 2) 国土地理院：中部地方の地殻変動，連絡会報，**52**（1994），479-490.
- 3) 国土地理院：中部・北陸地方の地殻変動，連絡会報，**53**（1995），611-615.
- 4) 国土地理院：中部・北陸地方の地殻変動，連絡会報，**54**（1995），484-501.
- 5) 国土地理院：中部・北陸地方の地殻変動，連絡会報，**55**（1996），485-490.

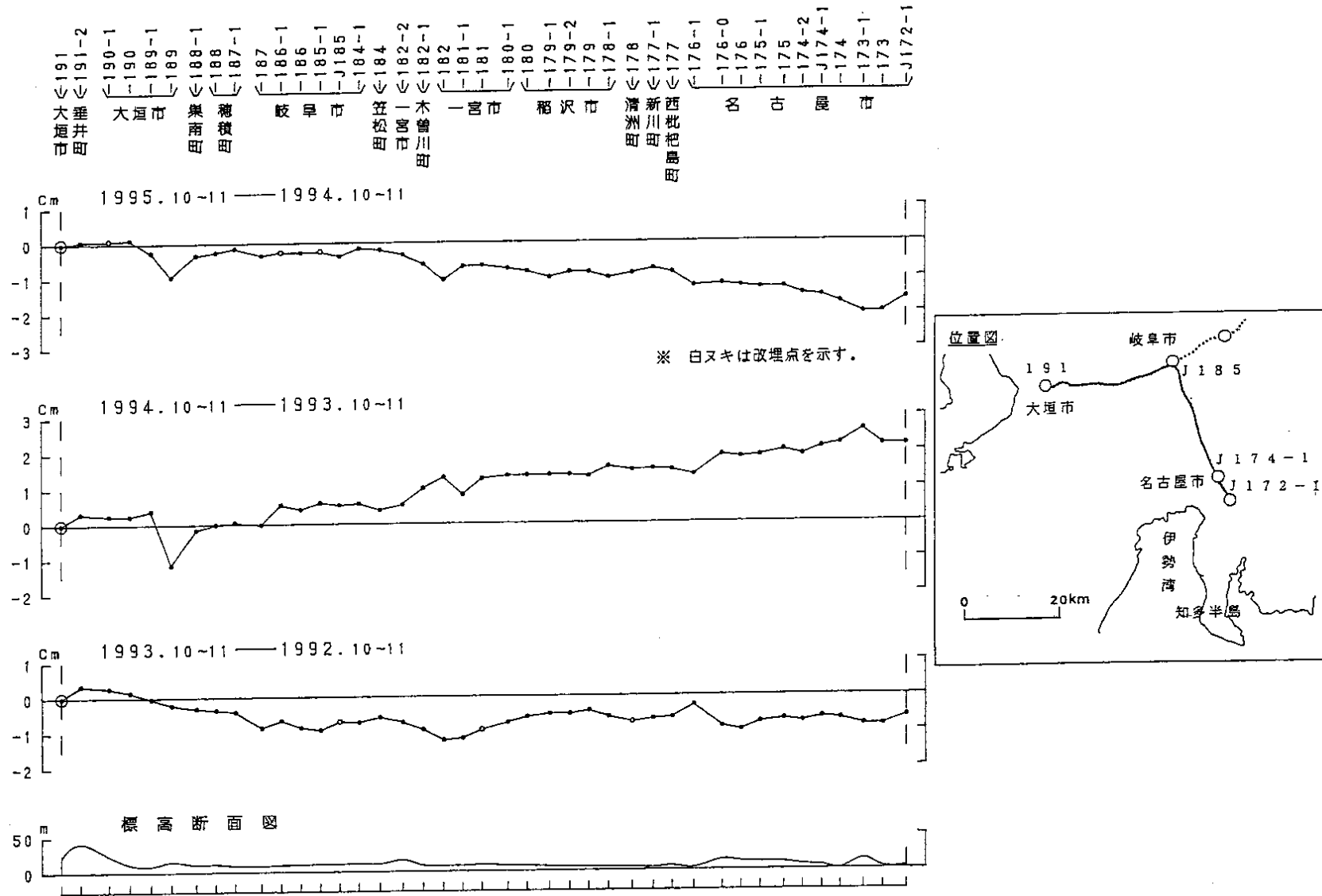


第1図 新潟県北部地震震源域周辺のGPS連続観測結果：(左) 基線長変化，(右) 比高変化

Fig.1 Results of continuous GPS observations around the epicenter of the Northern Niigata earthquake of April 1,1995 : (left) baseline length changes,(right) height difference changes.

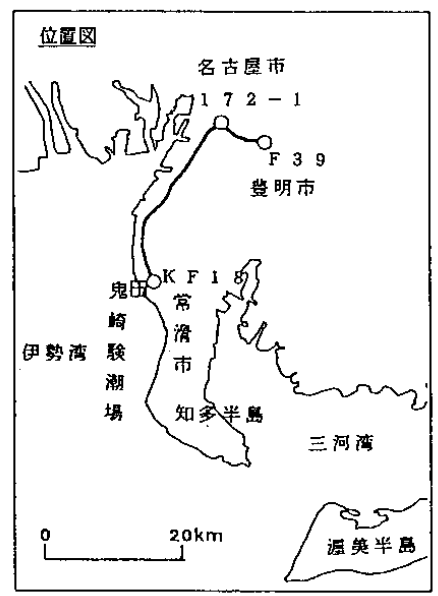
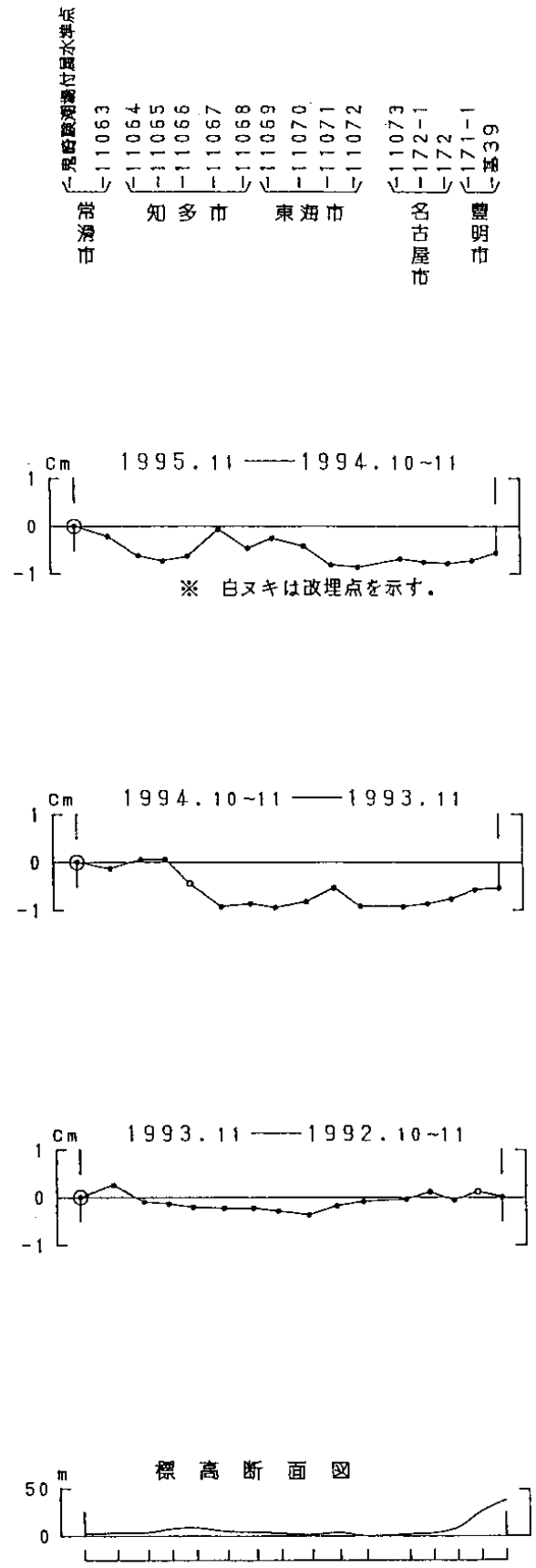


第1図 つづき
Fig.1 (Continued)



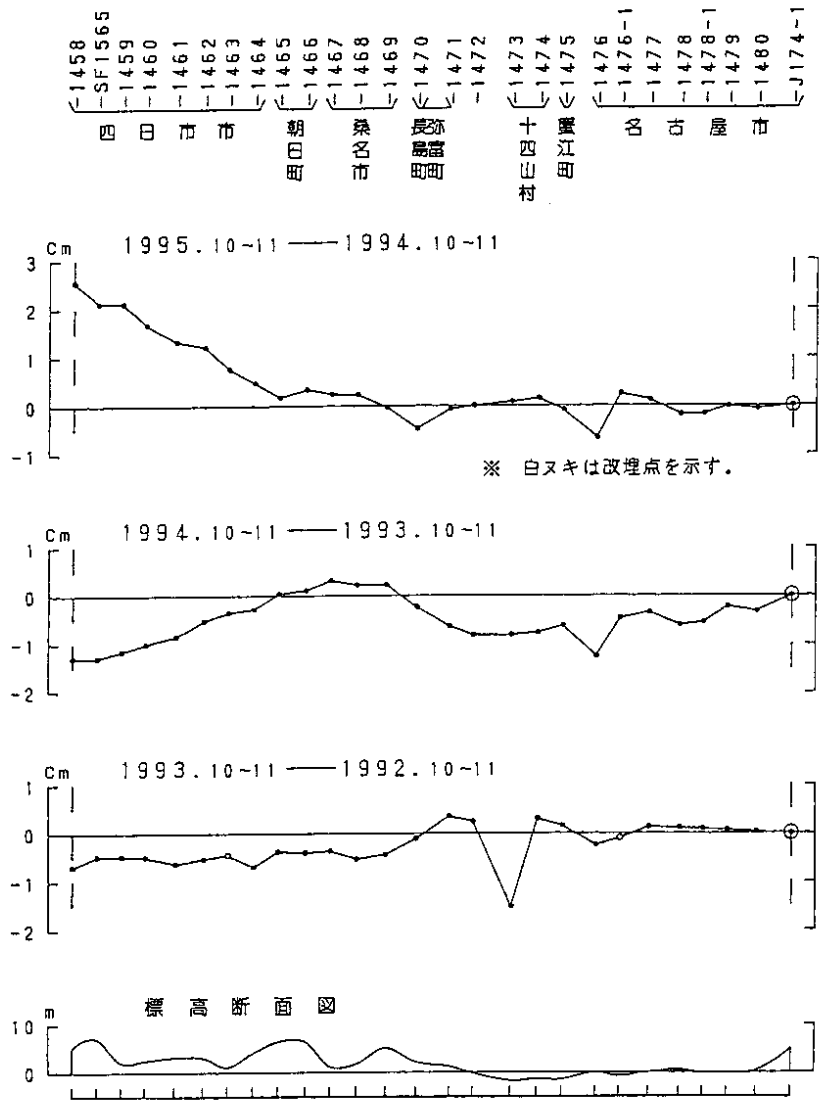
第2図 大垣～岐阜～名古屋間の上下変動

Fig.2 Vertical movements along the route from Ogaki to Nagoya via Gifu.



第3図 鬼崎験潮場～豊明間の上下変動

Fig.3 Vertical movements along the route from the Onizaki tide station to Toyoake.



第4図 四日市～名古屋間の上下変動

Fig.4 Vertical movements along the route from Yokkaichi to Nagoya